

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 14	
企画名	ステップアップ！多職種連携で認知症アプローチ
日時	2017年5月13日（土） 15:00～16:30
会場	第10会場（JR ホテルクレメント高松 2F 小宴会場「雅」）
企画責任者	井口 真紀子（医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック）
定員	20名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>高齢化に伴い認知症患者さんは年々増加しており、プライマリケアの現場でも対応が求められています。「認知症、なのはわかるけど、アルツハイマー型なんだか何なんだか...」「絶対認知症だと思うのに長谷川式の点数は良くてどうしたらいいのかわからない」「ステージアプローチと言ってもなかなか簡単にはできない」「寄り添うといっても、どうしたらいいのか」・・様々な悩みをお持ちと思います。認知症を支えるには診断、治療、多職種連携と様々な要素が必要です。このワークショップはそんな悩みを解消し、一歩ステップアップした認知症ケアを可能にするために、普段高齢者ケア外来で認知症患者さんやご家族を支える医師、看護師、ソーシャルワーカーの多職種チームで企画しました。</p> <p>【概要】</p> <p>ワークショップを通じて、自信をもって病型アセスメントするための局在診断スキルを習得すること、普段の認知症診療の悩みを共有し、多職種で支える方法を考えることを目標とします。認知症に関わる全ての職種の方の参加をお待ちしています。</p>	